

2月11日 老人達の雪遊び 「権現山」

小川 弘二

山名	老人達の雪遊び 「権現山」		山行名	個人山行
ルート	京田辺→平バス停付近駐車場→登山口→アラキ峠→権現山→アラキ峠→登山口→駐車場→京田辺			
山行日	2023年2月11日(土)		天候	曇後晴
参加者	リーダー：小川(75歳) サブリーダー：若林(76歳) メンバー：山下(隆)(84歳)・廣瀬(72歳)・植西(90歳) 平均年齢 79歳7か月 サブメンバー：木田 染矢 徳田 計 8名(男性6名・女性2名)			

ルート概略図 	コースタイム				
	地名	時：分	地名	時：分	
京田辺	発	07：00	登山口	着	13：20
ガスト	着		登山口	発	13：30
駐車場	着	08：30	寄道	着	11：50
	発	08：54		発	12：06
登山口	着	9：12	駐車場	着	14：40
	発	9：22		発	14：50
頂上	着	11：16	京田辺	着	16：00
	発	12：06			

今年も満90歳を迎えられたU長老のご指導の元、雪遊びに権現山に登ってきました。

京田辺を出る時には小雨がぱらついていましたが、登山口の大津・平バス停駐車場に着く頃には薄曇り。天気予報では早朝は曇りだがその後は晴れが続くが風は少しキツイとなっていた。

国道367号線から山側に入ると雪が積もっており、15分程歩いて登山口に到着したところでアイゼンを装着。その後、アラキ峠を目指して登りが続くが峠に近づくにつれ積雪量が増えてきて、ズボズボッと膝まで埋まることが度々発生。アラキ峠には1時間10分程で着いた。まずまずのコースタイムである。

アラキ峠で休憩を取り、再度登りにかかる。益々、積雪は増え登りもキツクなってきた。さすが仙人やお化けと言われるU長老も90歳と言う年には勝てず、休憩しようと言う声が多くなる。

キツイ登りを登り切ると真っ白に雪化粧された展望が開け、雪に覆われた京の北山や皆子山・先月登った栈敷ヶ岳やら丹波山脈が一望に見渡せる。

そして直ぐに権現山の頂上に着き、そこから琵琶湖や東側の山並みの大展望が広がっている。参加者からは期せずして「ブラボー・ブラボー」との歓声が沸き起こる。

写真撮影した後、集合写真を撮り、昼食場所を探してホッケ山の方に向う。風が少しふいていたが天気が良いので余り寒く感じない。対岸には雪の覆われた伊吹山や霊仙・御池山等の山並みを見ながら昼食を取る。

計画では蓬莱山まで行こうかなと考えていたが、もうここで充分との声が多く、昼食後は下山することになった。

下りは順調で1時間半程で駐車場に到着し、帰途に付く。帰りの車の中で来年は北海道のトムラウシ山に行きたいという話になったが、それまで耳の遠いU長老がトムラウシ山なら一枚噛まして欲しいと言いだしたので全員呆れて物が言えなくなった。やはり仙人だなと感じ入った次第です。

今回も天気と仲間にも恵まれて楽しい一日を過ごさせて頂き、有難う御座いました。



ヒヤリハット： なし

## 冬の権現山感想

山下隆

昨年の冬シーズンには蛇谷ヶ峰・綿向山共に快晴の下で、高齢者登山を2回も実現できたので今年も是非との思いは大きかった。権現山→蓬莱山の雪山は今シーズンの最初で最後なので、好天期待は大きい。

2/11の当日は皆の期待通りの天気になり万歳。約2hrの雪道の登りで汗を掻き掻き頂上へ。琵琶湖全体が一望だ。

大長老から70才の若手まで 全員歓声を上げ、仲間との喜びで感激も大增幅したりで、声が詰まる程だった。ほどんど風も無く、真っ白の積雪は1m弱か。絶好の年寄向けの冬山登山に出会えた。

昨年の綿向山や数年前の明神平でも最高の時を味わったのを思い出す。ワカンが不要でアイゼンだけで登れたことも嬉しい。CLはさぞかし山の選択に苦労したことだろう。

頂上で、琵琶湖の端から端まで眺めながらの昼食休憩時間を堪能する。近くに見える蓬莱山まで足を延ばすこともなく、ここで至福の時間をたっぷり過ごせた。いつまでも健康で足腰丈夫にして このような幸せを味わいたいものだ。小川 CL はもとより御同行のみな様 お世話になり有難うございました。

目の前の琵琶湖一望はなぜか人間を幸せにしてくれる。関東の友人をその先の琵琶湖バレイに案内した時も大感激をしてくれた。山登りの折に池や海(湖)に出会うと、一段と山旅は印象深くなるのは不思議だ。先日、図書館に寄った時、草川敬三著「海をながめる山歩き」(2022.9)を見つけた。行きたくなる山が沢山あり、海のそばには 新鮮な魚料理にも出会えるのでは どこにしようかと思いをはせ 心は躍った。



## 山友会長老登山ギネスへの挑戦

若林憲治

昨年の綿向山雪山登山の平均年齢は 78.2 歳で毎年更新をしようとの合言葉の下今年も同じメンバーで比良山系権現山への挑戦が実現できた。今年の年齢は昨年よりそれぞれが一歳増えて 79.6 歳で山友会のギネスも更新。

今回は若手? 三名枠外参加も参加者全員の平均年齢も 77.0 歳 枠外参加者で今回は最年少の K 氏も明日の例会登山時は最長老の可能性大も今日の登山だけは若さを強調できたのもこの会ならではの。

登山にあたり、長老様は誰の手助け受ける事も無く、山頂付近は1.0m積雪の権現山登山達成 老人会登山ギネス挑戦を天候も味方 快晴下我々を歓迎してくれ、眼下には琵琶湖大橋や琵琶湖の湖面 その先には雪に覆われた伊吹山を望むことも出来 個人的には今年赤坂山雪山登山に続き快晴化の登山を楽しむ事が出来た山行であった。



来年は新たな目標の 80.0 歳の大台突破を合言葉に解散。

O 氏 K 氏安全運転有難うございました。

O 氏 K 氏安全運転有難うございました。



## 一口感想文

廣瀬秀憲

今年も90歳のOB長老と84歳の現役長老を含む総勢8名で滋賀県の権現山に登ってきました。今年には女性2名と、元気いっぱいの70歳男性が加わったため平均年齢77歳と昨年より2歳弱若返ったようです。

花折の登山口からアイゼン着装。表面は多少凍てついていたが、水分を多く含んで陽が照るとすぐ溶け出すような雪質で歩きやすかった。

のぼりはじめてしばらく杉林が続いていたが、アラキ峠手前より広葉樹に変わり、雪表面がきれいになり、陽光の通りもよくなった。小休憩。

権現山には11時に到着。一気に眼前に琵琶湖が広がり、空は晴れ上がり、目前に蓬莱山、打見山が見える。蓬莱山の後ろ遠くに伊吹山、またその右に霊山岳、ともに冠雪姿を見せていた。ゆっくりと食事タイム。

1週間前は、今より+1mの積雪で、吹雪いて登れなかったと、他の登山者が話していた。天候を見ながらの山行であるが、やはり今年もラッキーだった。

登山口から権現山まで約2時間。ゆっくりであったが、最長老の体力に感服。来年も記録を伸ばしそうである。現役最長老も目標をもってますます意気盛ん。

晴れた穏やかな雪山は最高です。来年も楽しみにしています。



## 一口感想文

染矢 つや子

90歳と84歳の元気なおじさんとの登山。日々努力しているといつまでも登れるのだと、おふたりを見ていて実感しました。尊敬し、目標にしたいと気を引き締めました。

山友会で元気な人たちと交わっていると、励みになり自分の年齢を忘れさせてくれます。

最近の冬山は「愛宕山」「金剛山」ばかりで比良山系はコロナ前以来でした。真白と真青「権現山」からの眺望は圧巻！このまま1日中座ってぼんやりしたい。

厳冬期にこんなに穏やかな日も稀ですべてに得した山行でした。



## 一口感想文

木田修司

昨秋に引き続き90歳の植西翁と一緒に快晴の雪山山行を楽しむことができました。

例会などの山行では最年長者になることが多くなってきたのですが、このメンバーでの山行では、今回も70歳の最年少者となりました。

アイゼンを着け、かくしゃくと歩を進める先輩諸兄姉の後ろ姿を拝見していると、当分の間最年少者としての定位置が続きそうな気配です。

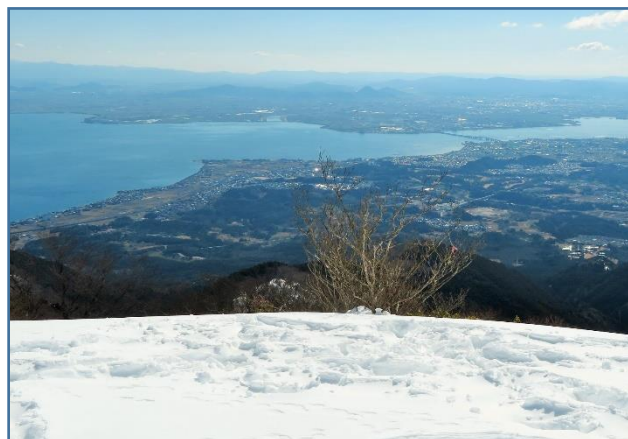
一口感想文

徳田幸子

植西さんと権現岳に登りませんかとのお誘いをして頂き晴天の中、平バス停付近から権現山に登りました。

90歳になっておられるのに体力の落ちることなく引っぱり上げて頂きました。

権現山山頂からは琵琶湖が見渡せ最高でしたが、小川さんが「もう少し行った所で昼食をします。」と言われて行くと、またまた素晴らしい絶景、打見山、蓬萊山、遠くには雪帽子を被った伊吹山、霊山、琵琶湖大橋、数々の島々を見ながら、のんびりと昼食、帰り際に一週間前は権現山の標識も雪で覆われていたとの事、別れを惜しみながら無事下山しました。



東面：眼下に広がる琵琶湖と堅田の町波



西面：京都の北山と丹波山地の山並み



両手に花？ ご満悦の最長老



ガンバッテる最長老